

NGO サポート募金
「スリランカ洪水 緊急支援まとめて募金」
活動状況報告

2011 年 3 月 5 日 (特活)国際協力 NGO センター

NGO サポート募金「スリランカ洪水 緊急支援まとめて募金」活動状況報告

開設期間：2011年1月19日から2月18日まで

参加団体一覧（4団体）:

- （特活）ピースウィンズ・ジャパン
 - （特活）難民を助ける会
 - （特活）れんげ国際ボランティア会
 - （特活）ワールド・ビジョン・ジャパン
- （以上 50 音順）

総募金額：61,000 円

ご寄付者：個人 10 名様

NGO サポート募金「スリランカ洪水 緊急支援まとめて募金」活動状況報告

- ・ 団体名：特定非営利活動法人ピースウィンズ・ジャパン
- ・ 団体概要：

1996年の設立以来、民族、政治、宗教、信条にとらわれることなく、世界各地で起こる紛争や災害による脅威にさらされている人びとに対して、緊急人道支援ならびに復興支援を行っています。現在、世界の8カ国で活動を展開しています。

- ・ 代表者：大西 健丞
- ・ 設立年月：1996年2月
- ・ ホームページ URL：<http://www.peace-winds.org/>
- ・ スリランカ洪水被害支援情報ページ URL：<http://www.peace-winds.org/jp/act/srilanka.html>

【支援地域】

スリランカ東部のバティカロア県及びトリンコマレ県

【支援対象】

避難所で生活する被災者。また、被害状況が大きく、生計支援を要する人びと。

【主な活動内容】

スリランカ東部における大雨洪水災害への緊急人道支援として、ピースウィンズ・ジャパン(PWJ)は事業を1月に開始致しました。被災者は全国で100万人を超え、30万人以上が避難所に避難していた状況を受け、被災者向けに、緊急性の高い水衛生事業と食糧等の配布を実施することに決定しました。気候、住環境、栄養状態共に劣悪な環境におかれている被災者の衛生状態、栄養状態の悪化を食い止めることを目的として1月中旬より、事業を続けています。

初期の事業内容は、バティカロア県とトリンコマレ県において、避難所で生活する被災者への飲料水を供給でした。また、他の国際支援団体が配給する食糧(米、小麦粉、油等)だけでは栄養状態が維持できないことなどを受け、PWJでは大豆ミート、豆、魚缶、ココナッツミルクなど、人びとのニーズに沿ったような栄養補助機能を備えた食糧を配布しました。

衛生事業では、井戸やトイレが水没し、汚染されているため、飲料水の入手が難しく、衛生状態の悪化が著しい地域において給水車による給水支援を実施しています。また、トイレの汚水や塩水、泥などで汚染された家庭用及びコミュニティ井戸の緊急除菌洗浄も実施します。

【今後の活動予定】

洪水被害の甚大な地域において、給水車による飲料水の供給と、汚染された井戸の緊急除菌洗浄などを引き続き行います。また、被災時期が農作物収穫時期と重なり、収入が激減した農家の自立支援のため、稲作と畑作用の生計支援パッケージを配布することを予定しています。



給水車からの水を受益者へ渡す PWJ スタッフ



食糧配布の様子



避難所で食糧キットを配布

NGO サポート募金「スリランカ洪水 緊急支援まとめて募金」活動状況報告

- ・ 団体名：認定 NPO 法人 難民を助ける会
- ・ 団体概要：難民を助ける会は、政治・宗教・思想に中立な立場で活動する国際 NGO です。1979 年にインドシナ難民支援を目的に設立され、これまで 55 を超える国や地域で支援活動を実施してきました。現在は緊急支援、障害者支援、地雷対策、感染症対策、啓発を中心に活動に取り組んでいます。
- ・ 代表者：理事長 ^{おさ}長 有紀枝
- ・ 設立年月：1979 年 11 月
- ・ ホームページ URL：<http://www.aarjapan.gr.jp>
- ・ スリランカ洪水緊急支援情報ページ URL：<http://www.aarjapan.gr.jp/activity/report/srilanka/>

【支援地域】

スリランカ東部州のトリンコマレー県、バットィカロア県、アンパラ県

【支援対象】

被害の大きい地域の住民。特に高齢者・障害者・女性など、支援の届きにくい方々に配慮しました。

【主な活動内容】

難民を助ける会は 2011 年 1 月 24 日までに東京事務局の職員 3 名をスリランカに送り、洪水被災者への支援活動を開始しました。スリランカでは洪水以前から現地 NGO とともに障害者支援活動などを行っていたため、培われたネットワークを活かして、スムーズに支援活動に取りかかることができました。

1 月 24 日には職員がトリンコマレー県の被災地に入り、被災状況を確認しました。トリンコマレー県を含むスリランカの北東部は、2009 年まで 25 年以上続いていた内戦で大きな影響を受けた地域です。停戦を受け、ようやく復興に向け動き出したところだったのですが、今回の洪水で、住居や家財道具を失ったり、収穫前の田んぼが水没して稲がだめになるなど、大きな被害を受けました。

難民を助ける会のスタッフは最大都市コロンボを拠点に支援活動の準備を進めました。2004 年のスマトラ島沖地震（インド洋大津波）の際に、スリランカの被災者を支援した経験が、今回の物資の選択に役立ちました。

最初の物資配付は、2 月 1 日、バットィカロア県エラプールにて 200 世帯の被災者を対象に行われました。支援物資の内容は、米、豆、砂糖、紅茶、飲料水などの食料と、調理用コンロ、タオル、石けん、食器などの生活必需品です。被災後初めて支援物資を受け取ったという被災者もあり、支援は大変喜ばれました。

その後も、被害の大きかった東部州の 3 県において、特に支援の届きにくい女性世帯や障害者に配慮しながら活動を続け、2 月 27 日までに合計約 1,600 世帯（約 8,000 人）に支援物資を届けることができました。皆さまのあたたかいご支援に心より御礼申し上げます。

【今後の活動予定】

被災地の障害者のために松葉杖や車いすを配付する予定です。



支援物資の入ったバケツと米の袋を受け取る被災者。左端は東京事務局の小林通孝（2月1日、バットикаロア県エラブル）



配付した支援物資の内容。主食の米や飲料水は被災者にとっても喜ばれました。



車いすユーザーの被災者（中央）に支援物資を手渡す東京事務局の林早苗（右）（2月20日、アンバラ県デヒアッタカンディヤ）



受け取った支援物資をうれしそうに持って帰る子どもたち（2月27日、バットикаロア県エラブル）

NGO サポート募金「スリランカ洪水 緊急支援まとめて募金」活動状況報告

- ・ 団体名：(特活)れんげ国際ボランティア会
- ・ 団体概要：当会は1980年、カンボジア難民の支援をきっかけに設立され、今年で31年目を迎えます。アジア各国で、自立・自助のための教育を中心とする支援活動を行っています。現在の主な活動はチベット難民支援、ミャンマー難民私怨、スリランカ教育支援を行っています。
- ・ 代表者：川原英照
- ・ 設立年月：1980年3月
- ・ ホームページ URL：<http://rengge.asia/>

【支援地域】

アンパーラ (Ampara) 地域のマハカンディヤ村 (Mahakandiya) とバンダラドゥワ村 (Bandaraduwa)

【支援対象】(40文字程度まで)

両村の800人の人々

【主な活動内容】(600文字程度まで)

食糧、日用品などの支援物資の配布。支援物資は下記のものです。

被災者一人に対して

・米 3kg ・砂糖 2kg ・粉ミルク 400g ・紅茶 500g ・ダール豆 500g ・水 1000ml (ボトル)

・サマポーサ 200g (5歳以下に食べさせる食糧) ・ベッドシート 1枚 ・ろうそく 25本

・マッチ 12箱 ・ハナドール 20錠 (鎮痛剤) ・石鹼 2個 ・歯みがき 1個

これらの支援物資を800人に配布 1,518,394Rs. (約1,180,000円)

【今後の活動予定】

被災者の生活状況を観察しながらニーズにあった支援物資を随時支給予定



支援物資



配布の様子



支援物資



配布前のカンファレンス



配布の様子



配布前のカンファレンス

NGO サポート募金「スリランカ洪水 緊急支援まとめて募金」活動状況報告

- ・ 団体名：特定非営利活動法人ワールド・ビジョン・ジャパン
- ・ 団体概要：
国連経済社会理事会に公認・登録された国際 NGO、ワールド・ビジョンを構成する日本の民間援助団体です。キリスト教精神に基づき、開発援助、緊急人道支援、アドボカシー（市民社会や政府への働きかけ）を行っています。
- ・ 代表者：片山信彦
- ・ 設立年月：1987 年 10 月
- ・ ホームページ URL：<http://www.worldvision.jp>
- ・ スリランカ洪水被害支援情報ページ URL：
http://www.worldvision.jp/news/news_0576.html

【支援地域】

パティカロア県、トリコマレー県

【支援対象】

スリランカ洪水で被害を受けた人々、特に子どもたち

【主な活動内容】

ワールド・ビジョン・スリランカでは、政府や現地 NGO と協力しながら、緊急人道支援を実施しています。これまでに 1 万 5,000 人に食糧、固形食塩、生活物資を配布しました。4 つの避難キャンプで 1 日あたり 3 万 2,000 リットルの水を配給しています。

ご支援者からの募金とジャパン・プラット・フォームの助成金により、東部のパティカロア、トリンコマレー両県で、洪水によって被災した子どもたち、人々へ給水車による安全な飲み水の提供、衛生状態を保つための石けんや洗剤などが入った衛生キットの配布、汚染されてしまった井戸の清掃などを行います。また、洪水によって持ち物を失ってしまった子どもたちのために、ノートやペンなどの学用品を配布する予定です。

【今後の活動予定】

今後も防水シートを含む生活物資、資産返還プログラム、水の配給、被害を受けた学校の修復、教育キットの配布を実施していく予定です。



生活物資を配布するワールド・ビジョンのスタッフ



洪水で被害を受けた人々を支援するワールド・ビジョンのスタッフ

